

チェーンステッチシート敷設手順

防草効果を最大限に発揮するには敷き方も重要です。



① 施工前に草刈・整地を行う

1. 雑草を刈り払い、浮き石などを取り除き平らにしてください。
2. 状況に応じて、雑木の繁茂している所は根を取り除き平らに整形してください。
※雑木等の切り株が地上部より出ていると、防草シート敷設時にシート上に乗った際、突き破る恐れがあります。



※車両乗り入れを想定されている場合

- ・轍ができないような締め固まった地盤で適用してください。
- ・地盤が柔らかい場合はシート敷設前に締め固めてください。



② 防草シートを拵げ設置する(防草シートの重ねは10cm以上)

1. 雨の流れ、風向きを考慮して、シート重ねの上下を決定してください。
2. 重ね部分は10cm以上設けてください。端部にU字溝やコンクリートブロックなどの構造物がある場合にも10cmの重ねを設けてください。

※光の反射で見た目が異なることがありますので、シート敷設の向きを統一してください。



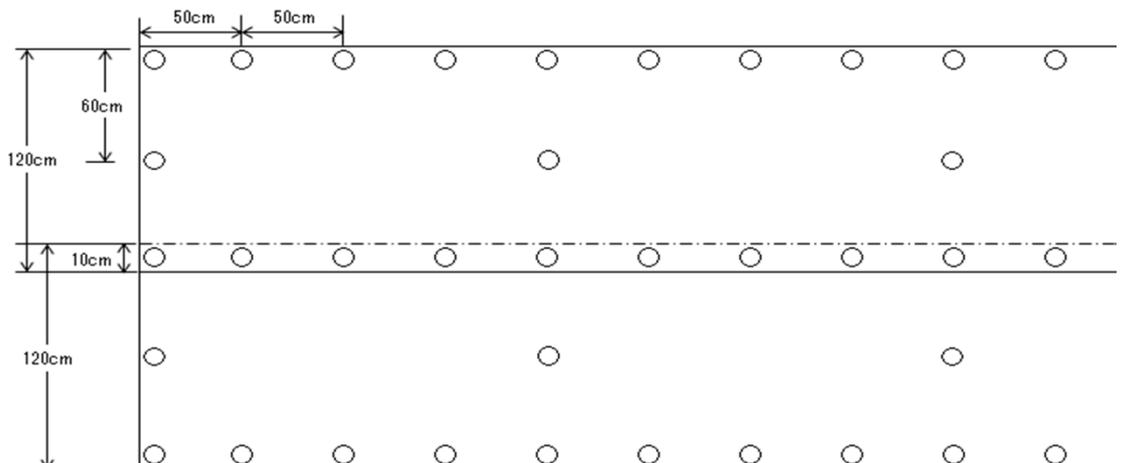
③ 等間隔に止めピンの位置をマーキングする。

巻尺などを用い打設標準パターン(下図)を参考に、防草シートの伸長方向や重ね部は50cm間隔、幅方向は60cm間隔、中央部は200cm間隔でマーキングしてください。

止めピン位置参考図

<W1.2m × L20m>

○印: 大頭釘(樹脂付き)φ9 × 200mm





④ 止めピンを打設する。

マーキングした位置に大頭釘(樹脂付)φ9×200mmを打設してください。



⑤ 構造物及びシートの重ね部分をウレタッチで接着させる。

1. 設置部の砂埃をきれいに清掃してください。構造物はワイヤーブラシで清掃してください。
2. 構造物がある場合は防草シートを10cm重ねて接着させてください。
3. ウレタッチをシートにねじ込ませるように手で押さえてください。

※端部処理後は剥離する可能性がある為、最後の工程とし、作業後は施工面を歩かないようにしてください。

※施工面が乾燥しているのを確認して施工してください。

(濡れていると接着不良の原因になります)



⑥ 完成

止めピンの打設ミスが無いか確認し、問題が無ければ完成です。

